



▲茶業振興に尽力され、本村を農林水産大臣賞に導いた今井眞平会長。

にぎわった岐阜県茶業振興大会！

桜茶太鼓のみごとなバチさばきで始まった茶業振興大会。九月三日、はなのき会館において、村内外から約八百人の参集により行われました。

大会では、品評会の受賞者表彰をはじめ、「美濃茶のブランド化を」の大会決議、また、本村の“村おこし”への取り組みなどを発表しました。

催し物として、入賞茶の展示や特産品の屋台コーナー、駐車場では、農業機械の展示や茶そばのサービス、朴葉ずしのバザーコーナーなどが設けられ、大会を盛り上げました。



▲会場には108点の出品茶が展示されていました。



▲たくさんのバザーや特産品販売の店が並び、大会を盛り上げました。

広報

1996
平成8年

9

No.423

ひがししらかわ

人口の動き

世帯数	896	世帯
人口	3,320	人
転入	3人	
転出	3人	
出生	4人	
死亡	4人	
先月と比較して増減なし		
昨年と同月と比較して		
57人減		

村の人口が倍になった夏!

お盆は母や父、幼なじみの待つ故郷に帰る人、また涼を求め旅を楽しむ人たちが大勢います。

本村へもこの時期たくさんの人たちが訪れ、人口約三千三百人の村が約八千人の村に膨れ上がり、祭りや鮎釣りなどを楽しむ人たちにぎわいました。

また、東京や名古屋、岐阜を中心とした村出身者や村を愛する人たちが構成される村人会の皆さんとの交流会や都会に住む女性の人たちに田舎の職場などを体験していただく「額に汗して田舎留学」が行われました。



みんなが集った

里帰り交流会

岐阜市を中心に新しく発足した村人会「東白川はなのき会」に東京、中京の村人会の皆さんと村の人たちとの懇親を深める「里帰り交流会」が八月十三日、はなのき別館で行われました。

参加者は合わせて五十名。

フルートとピアノの生演奏をバックにするなど、ちよっとお洒落な交流会。しかし、雰囲気と食欲は別物。ふるさと企画が準備した、屋台風のコーナーには、生ビールに焼き鳥、木の芽田楽、朴葉ずしなどを求める皆さんで行列。

「来ないと忘れ物をしたような



里帰り交流会より

感じ」とは、東京在住の藤原福夫さん（平出身）の次女、田中真弓さん。藤原さん一家は今回四人で参加。朴葉ずしなど故郷の味を久しぶりに噛み締めていました。

村出身者ではないが「東白川村の大ファン」と言う名古屋市の犬飼陽子さん（東京出身）は村のイベントの常連さん。今回の参加は焼き鳥がお目当てかな?

接待役の村の皆さんはサイフが軽くなったようでしたが、最後はみんな「故郷」を合唱、外へ出て線香花火で童心に返りました。

'96 五加納涼盆踊り大会



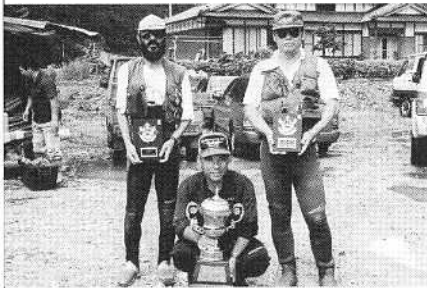
ドドンとプロさながらの大花火! '96五加納涼盆踊り大会が八月十六日、五加製茶工場の前で行われました。目玉はやはり大花火。素人が扱うには最高の大きさである二号玉二百発が打ち上げられ、観客から大歓声が沸きました。

集落でもにぎわった夏

ヒガシシラカワズカップ鮎'96

「ヒガシシラカワズカップ鮎・'96」が神土平地内の平成橋付近で行われ、あいにくの雨の中、六十三名が参加。「東白川はレベルが高い」と予選を見守る昨年の優勝者伊藤文生さん（加子母村）。決勝へは、予選を通過した十三名とシード選手三名の十六名が進出。白熱したこの大会を制したのは十四（親鮎込み）を掛けた陰地の今井繁人さん。

大会結果（敬称略）
 ①今井繁人 ②田口邦久（平・9匹）
 ③今井嗣尚（平・8匹）



左から2位田口邦久さん、1位今井繁人さん、3位今井嗣尚さん



ふるさと夏まつり

ザ・五介

「この祭りに参加しないと夏が終わらない」ほどの夏のビッグイベント「ふるさと夏まつりザ・五介」が八月十四日、平地内の各会場で行われました。

朝のラジオ体操の終了を合図に開店した朝市。ここには新鮮な野菜や焼きたてのパン、また、うどんなどのコーナーと、朝からスタッフの威勢のいい呼び声でお客さんの財布のヒモも緩み勝ち。

一方遊びのコーナーは、あまごのつかみ取りや乗馬コーナー。たくさん子どもたち



ゆかたコンテストより



であふれ、夏まつりも朝から上々のスタートとなりました。

夕方からは、はなのき会館駐車場でバザーや遊びのコーナーがズラリ。雨にもかかわらずテントの中はお客さんの人だかり。いつもは友だち同士でも、釣りや野球の仲間で「焼きそば」や「たこ焼」といった店を出す人たちは今日ばかりは商売敵、「いらっしやい、いらっしやい」の声は、高まるばかりでした。

はなのき会館のホールでは「五介とビンゴゲーム」や「ちびっこゆかたコンテスト」。ちびっこゆかたの姿の可愛らしさに会場も和やかな雰囲気になりました。このあと行われた、歌謡ショーなども盛り上がり、暑い夏を忘れさせる一時となりました。

大口・西洞・加舎尾お盆フェスタ

西洞センターの完成を記念に始められたお盆フェスタ。今年は八月四日にセンター前の広場で行われました。

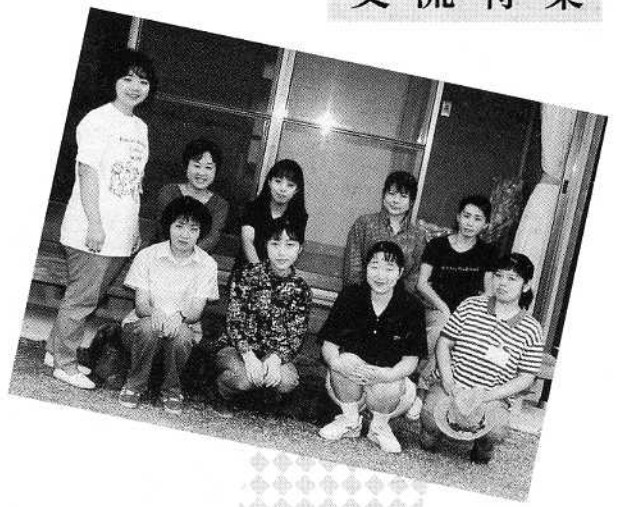
この祭りは太っ腹。ビールにジュース、ポテトに焼き肉などが飲み食いせよ、んぶタダ！

また、色々な遊びも子供たちに人気のサッカーやバスケットボールを取り入れ、賞品も集めた不用品で賄うなど、思考を凝らした祭りでした。

越原神社夏まつり

村の夏を知らせるように祭りの先頭を切るのは毎年七月三十一日に行われる越原神社の夏祭り。スイカ割り大会やカラオケ大会、また、芸能人による歌謡ショーなどが行われ、大勢の皆さんでにぎわいました。

恒例となった花火大会も数百発が打ち上げられ夏の夜空を色鮮やかに染めてくれました。



額に汗して

田舎留学

八月二十六日午後一時三十分、下呂駅に八人の若い女性が降り立ちました。彼女たちの目指すところは東白川村。村が若者定住を進めるために企画した「額に汗して田舎留学」に参加するため各地から馳せ参じた皆さんです。

迎えるマイクロバスに乗って着いたのはこもれびの館。彼女たちは九月一日までの七日間、ここを宿にし、毎日村内の団体や企業へ職場体験に出掛けます。

職場への送り迎えは体験先の独身男性。職場での仕事の世話ももちろん彼ら。この企画には、「森の交流大使」の二人も参加してくれました。「自然と森が

街から女性がやってきた



木の寸法をとる尾関友美さん（森林組合にて）

好き、観光などの表面的でないプログラムにひかれました」と参加したのは名古屋市から来た加藤悦子さん。

次の日から彼女たちは二人一組みで配置された職場へ。

この日はあいにくの雨。森林組合に配置された二人はカップ姿にヘルメットをかぶり木材の寸法を測っていました。普段OLや家事をしている彼女たちには辛い仕事だったのでは。しかし、性格の明るい二人は、「頑張ります」と力強い返事。皆さんは翌日も元気に出掛けました。

二十九日には、はなのき別館で交流パーティー。このパーティーは職場でお世話になっている皆さんを彼女たちが手料理で招くもの。メニューには、



“私ってセンスあるのよね、私の作品誰か買ってくんない”（陶芸教室にて）

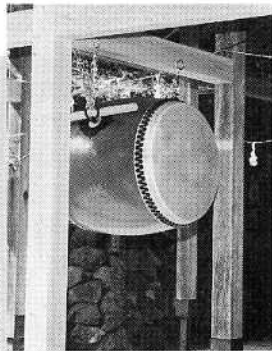
特産品のジュースに趣向を凝らしたデザートもありました。

パーティーでは、おしゃべりあり、ゲームありと楽しいひとときをすごし帰り際には、花火をしながらはしゃいでいました。

一週間のときをすごした彼女たちは疲れを癒すために、最後の一日だけ下呂温泉で一泊。参加した動機こそ違っても、皆さん貴重な体験をしたので

大明神夏まつり

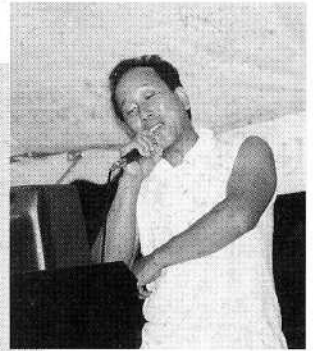
毎年八月一日に子護神社で開催されます。今年は大鼓堂が完成し、一層神社の風格を増しました。恒例の神楽獅子も奉納され、秋の収穫を祈願しました。



神付・中通納涼夏まつり

八月一日に中通農村公園で行われた納涼夏祭り。今年で二回目とまだ歴史は浅いが集落の皆さんの憩いのひとときに定着しつつあるようです。

ビンゴにカラオケ、飲み食いタダも魅力でした。



お盆は

同窓会も花盛り

お盆の楽しみのひとつには、やはり同窓会が入るのでは。共に学び、共にいたずらをした仲間が久しぶりに集い、童心に返って笑ったり、はしゃいだり。

村でも同窓会があちらこちらで行われました。

昭和三十一年度東白川中学校卒業、越原分校の四十六人のうち二十三人と恩師三人が集まり、村内めぐりを取り入れた同窓会を行いました。

村内めぐりでは、簡易水道の水源地や味の館などを視察、「村へは年に五〜六回来ますが、来る度に変わっている。発展することを誇りに思う」とは、名古屋在住の安江尚夫さん（大明神出身）。また、村を離れて二十七年の鈴木さちさん（陰地出身）は「時代の流れですね。発展するのはうれしい」と話してくれました。



昭和31年度東白川中学校卒業越原分校の皆さん（水源地にて）

皆さん、時が変えた村の移り変わりに感動をしたようでした。

前日の十七日には、昭和六十年度東白川中学校の卒業生たちが、こもれびの館でバーベキューでの同窓会。

中学校を卒業してはや十年。すでに父、母となって子育てに奮闘している人、都会に出て、企業の中核として働く人たちが集まり、肝だめしや花火などを楽しみました。

都会へ出ていた人たちの村への想いを尋ねると「結婚して子供ができたとき自然が残る故郷があるのはうれしい」とは、現在東京で会社勤めの村雲潤さ

先生たちも汗を流しました

八月六日、可茂管内の初任教職員を対象に、「枝打ち体験活動研修」が新集の村有林で行われました。

この研修は、「勤労体験活動を通して、生徒や児童たちへの指導に生かして欲しい」と県の教育委員会が主催して行ったものです。

参加した教職員は五十二名。切った枝や葉が顔に落ちる人や蜂に刺される人など、初めての体験とあって皆さん四苦八苦。しかし、時間が経つにつれて腕も上達、鋸もスムーズに動いていました。

「村民でありながらこのような仕事があるなんて知らなかった」とは



「上手になったでしょう私、アルバイトで使ってくれないかしら」

東白川小学校教員の平工美香さん。この日の体験で「山で働く人たちが東濃ヒノキという村民の財産を子孫へ残していくために、今こうした作業を行っている」ということに皆さん感心をしたようでした。



盛り上がってます。昭和60年度東白川中学校卒業生の皆さん「こっちへ来て食えよ!!」

ん（黒淵出身）。皆さんの中には、いつも故郷東白川村が大切にしまっているのですね。

ん（大口出身）。「村外へ出たことで東白川の良さを実感した」とは、春日井市で看護婦として働く安江さおりさん（黒淵出身）。

鮎ヶ瀬公園まつり

昨年「公園を利用して何かを」と始められた鮎ヶ瀬公園まつり、今年も八月一日に行われました。

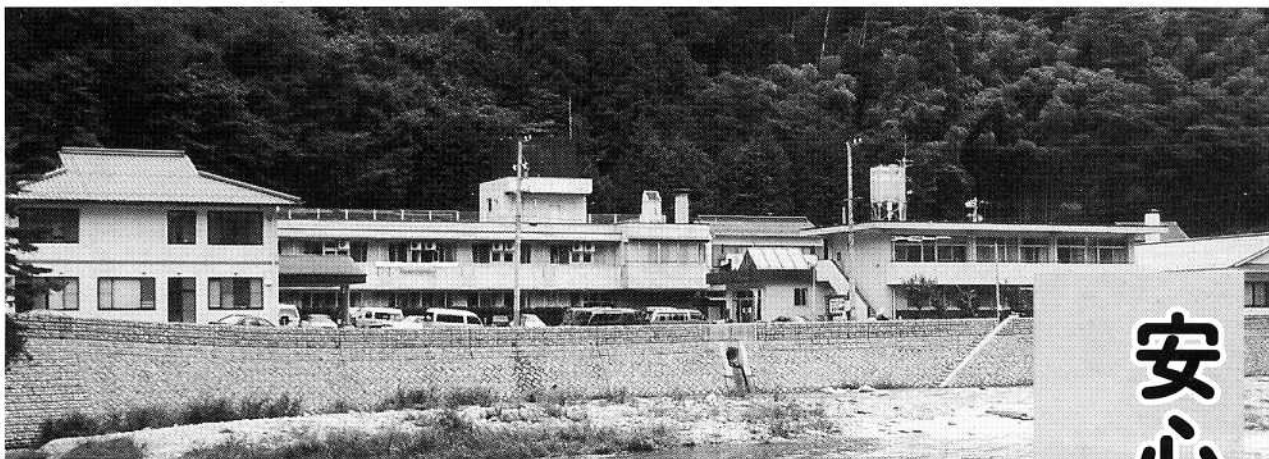
焼き鳥、おでん、ねぎま、焼きそばなど「おいしさいっぱい」のミニ屋台、子供たちには展望台でくじ引き大会や金魚すくい、夏の風物詩打ち上げ花火も行われ、清流の音を聞きながら、夕涼みを満喫しました。

平商工フェスタ



トリ、持参した自慢の車を走らせ大人も子どもも熱中しました。

「八月十五日、平の商店街がサーキット場に」今、子供たちの間で大流行のミニ四駆のタイムトライアルレースの大会が行われ、百台近くがエントリー、持参した自慢の車を走らせ大人も子どもも熱中しました。



安心と健康の拠りどころ 変りつつある東白川病院

東白川病院の体制が四月から一新されました。

新看護体制、予約診療、などという耳慣れない言葉に戸惑われたこともあったと思いますが、半年近く経った今、一段と充実して動き始めたその姿を紹介することにしましょう。

付添いのいらない入院 が実現しました

東白川病院には十七の入院室があり、三十三のベッドがあります。最大三十三人の入院患者を受け入れることができるわけです。

今まで、入院ということになると、軽症の人はともかく、重症であったり介護の必要なお年寄りなどの場合、どうしても付添いが必要でした。

入院が長期になると付添いも一人では足りず、何人もの人が交替であたることになり、これが家族や肉親に大きな負担となっていました。

また、独り暮らしのお年寄りや、家族がどうしても家を離れられない世帯などは、付添いが無いので入院させられないという悲しい結果にもなります。

東白川病院だけでなく、全国どこでも同じようにあったこの悩みを解決し、どんな状況の人にも、充実した入院治療を受けてもらえるようにするために全国的に看護体制が改められました。これが『新看護体制』と言われるものです。

東白川病院ではこの七月から実施していますが、この制度改革によって今までと変わった点は、看護はすべて看護婦がするので、付添いは要らないということです。

これによって、付添いの心配をせず、安心して入院していただくことができます。

病院ではそのために看護婦を増員し、新しい院長の指導で取組んでいます。

今まで長い間、入院すれば付添いが当り前でしたから、患者本人や家族にも戸惑いがまだあることでしょう。

今回の制度改革は入院時の看護は病院



不自由なお年寄りには、看護婦さんが食事を

東白川病院は立派な入院施設を持っているので、遠くの病院へ行かずにできるだけこの村で入院治療ができるようにするための取組みも、新しい努力のひとつです。

今まではともすると、すぐ他の病院へ転送していた患者も、この村で十分治療できるものは、東白川病院でお世話をさせていただきます。

がすべて行う反面、付添いは原則として禁止していますから、必要も無いのに付添いをしたいというようなケースは認められません。

しかし、患者が子どもの場合や、痴呆など特に付添いを希望される場合は、院長の判断で認められますので、ご相談下さい。



待ち時間無し、予約時間に受付窓口へ

院長が語る医療機械の話



▼電子内視鏡▲

胃や腸の中を
検査する内視鏡
はファイバース
コープといい、
細い光ファイバーの束を通し
て観察を行うものでした。

最近では先端にビデオカメ
ラを持ちテレビ画像で観察で
きる電子内視鏡が使われてい
ます。

東白川病院でもこれを使っ
ていますが、視野が広く画像
も鮮明で、患者さんにとって
もより楽になりました。

胃癌・大腸癌の早期発見や
胃・十二指腸潰瘍などの診断

予約診療で定期的な 診察を受けよう

病院という所は、とにかく待ち時間
が苦になるものです。

それを少しでも少なくするために始
めたのが『予約診療』です。

病院で診察を受ける場合、最初に診
てもらったことを初診と言いい、二回目以
降を再診と言いますが、予約診療はそ
の再診の日と時間を、あらかじめ予約
しておくことです。

今までは初診も再診も同じ様に順番

待ちでしたから、ちよつとした診察で
薬を貰うにも朝から待っているという
ことがありました。

四月から取り入れた予約診療では、
初診が終わったときに、再診が必要な人
に対して医師が、次回の予約をして下
さるようになっていますので、看護婦と相
談して自分の都合のいい日と時間を決
めて下さい。

予約が決まったら『予約券』をお渡
しします。

あとはその予約日時に病院へ訪れ、
予約券を受付窓口へ出して下さい。

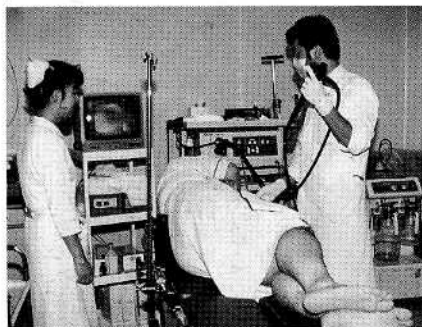
予約した日時にどうしても都合で行
けなくなった時は、すぐ病院受付へ電

に威力を発揮しますが、この内視鏡
を使って、命にかかわる大出血をお
こす胃潰瘍や食道静脈瘤からの出血
を止めたり、早期の小さな癌や、ポ
リープと呼ばれる疣状の小さなものを
切除したりすることが出来ます。

また胆

石や一部
の悪性腫
瘍の検査
・治療に
も利用で
きるなど

頼もしい
医療機械
といえま
す。



話して、予約の変更をして下さい。

また、病院の都合で予約を変更した
い時は患者さんに電話します。

予約で再診を受け、また次の再診が
必要な場合は同じ手順で次の予約をす
ることになります。

このように予約診療は、患者さんにと
っても病院にとっても時間の無駄を
省く良い方法です。

特に慢性疾患の患者さんにとっては
計画的な治療を受けることができるシ
ステムです。

慣れないうちは、診察は全部予約で
なければならぬと誤解されたことも
あったようですが、予約は二回目以降
で、初めて診察を受ける場合は当然予
約無しでその都度受け付けます。

なお、初診は午前十時から十一時こ
ろが比較的待ち時間が少いようです。

薬の出し方に工夫を：

たとえば高血圧症の人の場合、三か
月に一度くらい診察を受け、その間は
薬だけを飲んでいれば良い場合、長期
間の薬をまとめて出して貰えば便利だ
なァ……と思うことがあります。

もちろん投薬には定められた基準が
あり、必ず医師が診察した結果に基づ
いて一定の期間の範囲で薬を出さなけ
ればならず、無制限で長期間の薬を出
すことはできません。

しかし東白川病院では、この点にも
改善を加え、症状の安定した患者さん

には、認められる最大限の日数であ
る三十日間の薬をお渡しして、患者
さんが病院へ通う負担をできるだけ
軽くするように努めています。

ただ、診察を受けるのはめんど
うだから薬だけ欲しいと言う人があり
ます。

その患者にどんな薬を、どれだけ
与えるかは医師しか決められないし、
その医師も診察しないでは決めよう
がありません。

自分で自分の病気を判断すること
は危険なことですから、まず診察を
受けて医師の指示を守ることが、病
気治療の基本であることを忘れたく
ないものです。

このごろ病院で薬を買った人は気
が付かれたように、お渡しした薬が
どのような性質のものかを書いた用
紙が付いています。

これも患者さん本位のサービスで、
自分の飲んでる薬がどのような働
きをするかを少しでも理解して、正
しく使ってもらいたいからです。

往診、夜間休日の急患診療の場合
はまず連絡をいただいた状況に応じ
て、その場で取り得る最善の方法で
対応します。

大病院と違って少ない人員で幅の
広い医療を行っていますので、時に
は村民の皆さんにご無理をお願いし
たり、十分な対応ができないことも
ありますが、新生東白川病院を応援
して下さい。

おし せ ら

こんにちは
社協です

結婚について
のご相談は、

社協では、年
五回結婚相談所
を開設し、経験
豊富な相談員三
名がご相談に応
じています。

相談は無料で
秘密は固く守ら
れますので、お
気軽にご利用く
ださい。

今年度は、残
り三回開設いた
します（場所は
有線放送で）。

*九月二十日
*十一月二十日
*二月二十一日

高齢者多数雇用 奨励金等説明会の開催

六十歳以上六十五歳未満の
高齢者を六％を超えて雇用
する事業主に対して支給する
奨励金の説明会を開催します。
■日時／十月十六日（水）午
後一時から
■場所／美濃加茂市公共職業
安定所

■くわしくは／（社）岐阜県
雇用開発協会 ☎〇五八―二七
二―三二五―

法廷通訳人セミナーの 参加者募集について

法廷通訳人は、通訳を要す
る外国人の刑事裁判において
重要な役割を担っています。言
語によっては、まだまだ不
足しています。そこで、裁判
所では、法廷通訳人の確保と
養成を目的として、昨年から
大都市の裁判所を会場として
法廷傍聴や講義、通訳実習を
行う「法廷通訳人セミナー」

を開催しています。語学力は
あるものの刑事裁判の手続き
について知識がないため法廷
通訳を引き受けることのため
らいを感じている方など、多
数の方々の応募をお待ちして
います。

■くわしくは／岐阜地方裁判
所刑事訴訟事務室 ☎〇五八―
二六二―五二―内線三〇七

年金を守るかぎ― 基礎年金番号

平成九年一月から年金手帳
の番号が、「基礎年金番号」
となり、年金加入者にとって
便利になります。

基礎年金番号とは、全ての
年金制度に共通する年金番号
です。

基礎年金番号にすることに
よって、今まで加入していた
国民年金、厚生年金、共済組
合等を問わず、全ての記録が
一度に照会できます。また、
加入している年金の制度が変
わっても同一の番号で手続き
等ができ、届出を忘れている



新たに女性二人を 人づくりアドバイザーに

一人でもたくさんの方々が
村に魅力を感じて、村に
定住していただくために、
結婚相談や働く場、また若
い皆さんの仲間づくり活動
の支援などを側面からお手
伝いをしてくれる人づくり
アドバイザーを昨年から設
置しています。

これまで神土地地区で上親
田の安江利英さん、中谷の
樋口重福さん、越原地区で
栃山の安江博さん、大明神
の安江一成さん、五加地区

で柏本の栗本重秋さんの五
人の方が皆さんを支援くだ
さいましたが、新たに大明
神の安江陽子さんと大沢の
小池万智子さんが女性の皆
さんのアドバイザーとして
加わりました。
「気軽に声をかけてほし
い」と安江陽子さん。「少
しでも相談にのれば」と
小池万智子さん。お二人と
も良き先輩、良きお姉さん
として皆さんの相談の理解
者となっています。



小池万智子さん (33)
〈大沢〉有線-3957



安江 陽子さん (39)
〈大明神〉有線-3682

保健婦だより

すこやかな老後のためのこころえ

- ①規則正しい生活をする。
- ②あまり無理をしないように心がける。
- ③定期的に健康診査を受ける。
- ④からだや心に異常を感じたら、すぐに医師や保健婦に相談する。
- ⑤病気が発見されたら早期に治療する。
- ⑥ふだんからかかりつけの医師（ホームドクター）を決めておく。
- ⑦ふだんから健康度をチェックしよう（食欲がある。カゼをひかない。疲れが残らない。よく眠れる）

けいじばん

【戸籍】 (敬称略)

● 誕生おめでとうございます

(陰 地) = 松岡 正道 あき 亜希
みさえ
 (平) = 田口 正昭 いくよ 育世
江里子
 (柏 本) = 安江 敏之 げん 希元
真里子
 (上親田) = 田中 伸一 いっ な 怜奈
忠子

● おくやみ申し上げます

島倉とくの 76歳 (上親田)
 中島禮太郎 95歳 (神 付)
 村雲 久一 89歳 (加舎尾)

【善 意】 (敬称略)

【社会福祉協議会】

現金20万円 = 笹俣仙介 (栃山)
 現金1万円 = 安江八城 (やんちゃ会)
 現金12万7,190円 = 山田土建(株)従業員一同 (平)
 現金10万円 = 村雲光好 (加舎尾)
 現金30万円 = 中島克巳 (神付)

【東白川病院】

現金3万円 = 島倉完 (上親田)

【養蚕及び農業振興指定寄付】

現金737万8,000円 = 東白川村養蚕組合

【五加保育園】

部屋飾り20個 = 安江かく (中谷)

水と緑の

フェスティバル'96

全国二十三市町村のうまいもん、めずらしいもんなど、自慢の品が勢揃い。海の幸の

人に行政側から個別にお知らせすることや将来的には、年金の加入状況のお知らせや見込額通知などの新たなサービスが受けられます。
 十二月中に一人一人に基礎年金番号のお知らせがあります。くれぐれも他人に気安く教えないようにしてください。
 ■くわしくは／役場住民係まで有線二一六二

人権の啓発に関する

標語の募集

皆さんは「人権」とは何か知っていますか。
 「人権」とは人間が人とし

大試食会、販売、料理の紹介が行われます。また、漕艇場では全国市町村交流レガッタ大会が開催され、熱き戦いが繰り広げられます。
 ■日時／十月十三日(日) 午前八時～午後四時
 ■場所／川辺町役場前駐車場
 ■くわしくは／川辺町役場企画課 ☎五七四一五三一―二五 一―まで

て本来もっている権利のことで、等しく幸せな生活を営むための基本的な権利のことで

岐阜県人権擁護委員連合会

女性部会では、人権思想の普及高揚を図るため、さまざまな啓発活動を行っています。その活動の一環として人権をテーマとした標語を募集します。

■応募締切／十一月十日

■応募方法／適宜の用紙に住所、氏名、年齢、電話番号を明記

■応募先／岐阜市金竜町五丁目十三岐阜地方法務局人権擁護課

連合会女性部会 ☎五八―二四五一―三八一内線四六

交通事故無料相談

交通事故の対応も複雑化して、その解決にお困りの方も多くなっています。
 当協会では、自動車損害賠償責任保険並びに任意自動車保険の請求について、一切無料でご相談をお受けします。

■連絡先／岐阜自動車保険請求相談センター 岐阜市吉野町六―一四三三井生命ビル7F ☎五八―二六三―七〇〇―

■相談日／月曜から金曜午前九時半～十二時

TOPICS

講義

参加して良かった
思春期教室!!



「自分たちの思春期を思い出して下さい」と渡辺武子先生

中学生・高校生は、この時期、心や身体に変化が現れ異性に目覚める年ごろでもあります。また、子どもを持つ保護者もどうやって接していくか解らないと悩んでいる方もみえるのでは。

こうした思春期の真ただ中にいる中学生・高校生の皆さんや思春期の子を持つ保護者を対象に八月二十三日、保健福祉センターにおいて思春期教室が行われました。

今回の思春期教室には、「人間と性教育研究協議会」の会員で中学校の教諭という二人の女性講師を招き、保護者と子どもは、それぞれ別の部屋で講義を受けました。参加したのは、保護者が二十名と子ども十三名で、皆さん自分の経験を取り混ぜた

講師の先生の話に耳を傾けました。

保護者の皆さんは、「迷ったけど来て良かった」、「子どもたちも『機会があればまた』と参加して不安を解消したようです。



小学生はビデオで初級編

記録

続々登場 ギネスに挑戦!!
あなたの作品待っています

村では毎年「ギネス東白川何でも村一番」の認定を秋フェスタの場において行っています。今年も記録に挑戦する人たちが情報を寄せてくれます。

この得体の知れぬ物体は?

「松の老木に生えとった。何や解らんがあんまり大きいでギネスに」と写真と共に情報を提供してくれたのは黒

渕の安江英之さん。調べによると「マツオウジ」という針

葉樹に生えるキノコで、おもに東北地方で食されることが多いそうです。重さは

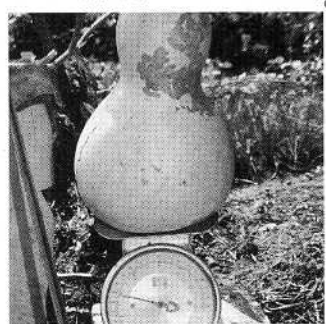
何と二千二百グラム。これだけ大きいと食べるのもたいへん。



これが食用!!「マツオウジ」というキノコです。

次にご紹介するのは、日向の田口安幸さんの作品。安幸さんはギネスの常連さんで、毎年色々な物に挑戦してくれます。今回は三点の作品でギネスに挑戦。

エントリーNo.一：超ドデカひょうたん。重さが何と九千グラム。今までの記録は安幸さんが持つ五千九百グラムでしたが、自己の



畑にはこんひょうたんがゴロゴロと



「ほかっておいたらのびた」という月見草

持つ記録を三千百グラム更新し認定を待ちます。

エントリーNo.二：ノッポの月見草。草丈二百四

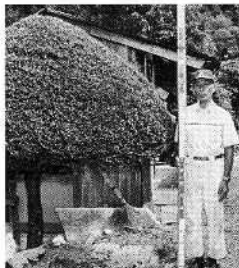
十五センチ。公式記録で月見草の記録は無く認定委員会に委ねます。

エントリーNo.三：つげの盆栽。高さ二百十五

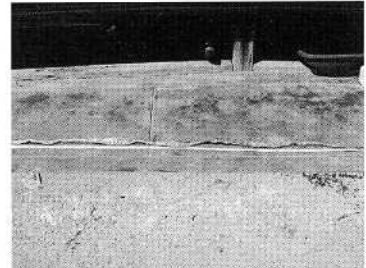
センチ。この盆栽は安幸さんが兵隊から戻ってきたときに植えたもので、樹

齢五十年経っているそうです。

しかし、成長のしすぎで鉢を壊し根が地中まで伸びているため盆栽と言えるか疑問です。



誰かこの盆栽に合う鉢を下さい!!



家に住む青大将のぬけがらでは!!

次の挑戦者は、中通の村雲正幸さん。「長い蛇の皮がある」との一報。長さ百九十二センチ。公認記録は二百一十二センチで三十センチ及び戦することに意義があります。

話題集まれ!

竣工

期待を寄せる!!
ハイテク製材工場の誕生

「東濃ヒノキの安定生産と高付加価値化を」と平成四年度の計画から完成に向けて着々と工事を進めてきた、東白川製材工場が、上親田の地場産業団地に完成し、八月三十日に関係者約八十人を招き竣工式が執り行われました。



完成した東白川製材協同組合製材工場



関係者の手によってハサミが入られました。

この工場は、約四千㎡の敷地に作業棟など六棟が建設され、コンピュータ制御により、大量の木材を製品化するツインバンドソー（帯鋸盤）を導入し、コストの削減や人手不足の解消を狙ったハイテク製材工場です。また、この工場で働く人たちは将来を担う若者が多く、林業で支えられる村にとってもたのしい施設の誕生です。

熱戦

お父さんもお母さんも
頑張った夏季スポーツ大会



打った!!打球はサードの頭上を越え、レフト前へ

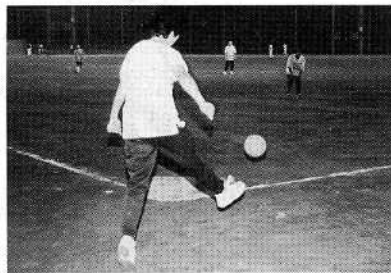
八月二十六日に開幕し、七日間の日程で熱戦が繰り広げられた第二回夏季スポーツ大会が総合運動場で行われました。

ソフトボールは一般男子の部が十チーム、壮年男子の部が十一チームによるトーナメント、また、女子の部はスーパードームを参加三チームによるリーグ戦で競いました。

すべての試合を一日で行った昨年に比べ、今年は楽な日程で試合が組まれました。

試合中に雨が降るといふアクシデントもありましたが、白熱した戦いは好プレーが続出。終始、和やかな雰囲気で行われたこの大会、皆さん爽やかな汗を流していました。

▼ソフトボール一般男子の部／①五加A ②平東③陰地、五加B ④壮年の部／①花の木②五葉B③岩倉平西▼スーパードームの部／①五加②大明神③日向



蹴った!!ボールはうしろへ

慰霊

東白川村満州開拓団
引揚50周年記念大会の開催



亡くなった親族を偲んでいるのか、慰霊塔を見つめる安江宏子さん

九月七日、はなのき会館において「東柳毛満東白川村開拓団引揚50周年記念大会」が、関係者約百十名の参加により行われました。

会館前に祭られる慰霊塔で、

故郷の土を二度と踏むこと無く、亡くなられた九十二名を含め、二百二十二名の物故者の慰霊祭が行われ、主催した岐阜県拓友会東白川支部長の安江久夫さん（平）は「再びこのようなことが無いように」と祭文を朗読。また、日本に永住が決まった、残留孤児の安江宏子さん（曲坂出身）も参加され、「自分の心の中にある忘れられない」と当時の悲惨さを語ってくれました。

会館ホールでは、元和良開拓団長の長女玉田澄子さんの講演が行われ、敗戦によって逃げ回る玉田さんの話に皆さん自分の記憶を重ねていたようです。

玉田さんは「自分たちがより被害者は中国人だ」と中国への基金の協力も呼び掛けました。



著書「大地の風」の利益は全部基金へという玉田澄子さん



夏まつりザ・五介より

今月の笑顔さん

みんなが 集まる 公園…のよつなページ

新AETのニックです

英語指導助手

ニコラス・J・

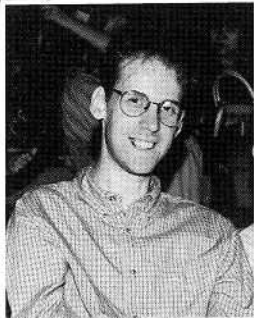
ホワイトハースト

皆さん初めまして。ニコラス・ジョン・ホワイトハーストです。ニックと呼んでください。イギリスのウォルバーハンプトンという町から来ました。父は土木技師をしています。が、今は退職して母とバラやたぐさんの花を栽培しています。サッカー好きの兄がひとりいます。

趣味は音楽鑑賞で時々ピアノも弾きます。ハイキングやサイクリングも好きです。

日本では剣道や座禅に挑戦したり、日本文化をたくさん勉強するつもりです。他にイギリスでは経験しなかったスキーもしたいです。九月に子どもたちと会って一緒に英語が勉強できることを今から楽しみにしています。先日来日してから、皆さんとても親切で、東白川村に来たことをうれしく思います。

一年間どうぞよろしく願います。



英語指導助手の
ニコラス・J・ホワイトハーストさん



職場から

東白川村
夏秋ナス
生産組合
管理ほ場

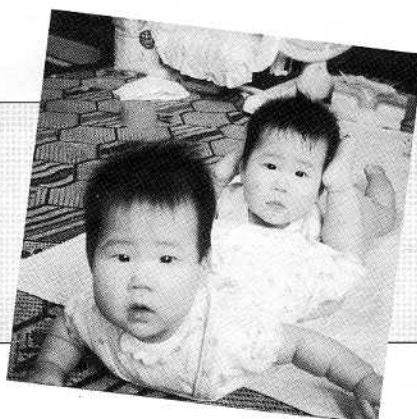
夏秋トマト
に続く村の基
幹作物といえ
ば、やはり夏
秋ナス。

今回は、東白川村夏秋ナス生産組合が管理し、生産を行っている神付の村雲勝也さんのほ場を訪ねました。ここで働くのは、田尻江さん（神付）の他三人の主婦の皆さん。

毎朝六時から七時半ごろまで収穫を行い、夕方涼しくなったころ、草刈りや枝の剪定をするそうです。

「組合のモデルほ場やで、病気を付けないようにしなアカンで」と意欲的に働く、村雲とみ子さん（神付）。

村での夏秋ナスの面積は平成五年には約二・四畝、七年には一・五畝と減少し、「このままでは」と組合が管理し生産。こうしたほ場は、現在、神付と西洞の二箇所。組合では意欲ある生産者を募集中とか。



▶今井 蛍ちゃん
光ちゃん
（邦廣さん・三和子さん
＝平）

「季語」という独特の約束事を操って、わずか十七文字の中に森羅万象を表現する俳句は、季節の豊かな日本の風土だからこそ生れた、世界一短い文学と言われます。

暑い日が毎日続いて、いいかげんうんざりしていた八月の初め、北海道帯広からの知人の便り、「毎朝二時間くらいはストーブを焚いて暖をとっています」。続いて室蘭の親戚からの電話、「朝は寒いからストーブ使っているのよ」。

同じ日本でこれだけ違う季節感。日本人というのは、だから細やかな感覚が身に付くのでしょうか。

その夏も終り、秋の到来です。此道や行く人なしに秋の暮 松尾芭蕉

お便り

今月のことば

趣味——それが生涯を通じての目標となったとき、
そして密度を増す。

今回は、村でフルートの演奏家としてお馴染みの笹俣良昭さん、直美さん夫婦を訪ねました。

良昭さんは、農協の職員ですが、年に三、四回は村のイベントなどでフルートの美しい音色を聞かせてくれます。

結婚して十三年という笹俣さん夫婦が一緒になった切っ掛けは、やはり音楽を通じて。良昭さんが岐阜市近郊に住んでいたころ、吹奏楽団のメンバーとして同じフルートのパートを担当

をしていた直美さんと意気投合。練習が終わると、同じ方角に住む直美さん自宅まで送っているうちに愛が芽生えたそうです。

奥さんは、現在自宅でピアノ教室を開き、近所の子どもたちに教えています。お互い音楽についてはプロ。「熱の冷めない人」とはご主人を評する奥さん。「子どもたちのことを考えて練習している」と、奥さんを評するご主人の弁。夢は、二人でコンサートを開くことだそうです。

2 ツーショット

音楽夫婦



笹俣良昭さん・直美さん夫婦

サークル

訪ねある記 ⑥



今回は、東白川体協バスケットボール男子の部を訪ねました。このチームの部員数は一般の方が十二名、それに高校生、中学生が一緒になって練習をしていました。

伝統は古く、過去には全国大会に出場した実績を持つこのチームも一時は活動が途切れ、三年前に復活をしました。

チームを復活させた理由は、「就職で、都会に出た人がUターンで帰ってきたときの受け皿になれば」と話してくれたのはチームを率いる今井誠さん（平）。

当面の目標は地区大会初戦突破だそうです。



飯塚昭男（月刊紙ウエッジより）

図書室発・あなたへ

ホットアングル



この老木、何と樹齢300年という栗の木。桃栗3年というが、もう何度実を付けたことでしょう。この栗の木があるのは西洞の田口節春さん宅。初代先祖が植えた木で、5本の内、現在3本が残っており「今でも甘い栗を落とす」と話してくれたのは奥さんの公子さん。

300年も経つと今ではすっかり色々な植物の宿り木となり、山ユリも咲いていました。



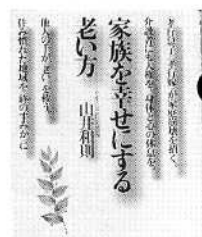
老親をかかえているあなた、やがて自らも老親となりゆくあなたへ…。自分も家族も笑顔で暮らせる法を。

今の日本人はみんな「介護爆弾」をかかえているようなものです。ひとたび介護が必要になれば、その家族は家庭崩壊の危機に直面します。お年寄りが倒れるだけでなく、介護者も倒れ、ドミノ倒しのようになります。



わが家のスター

このコーナーの子どもたちみな同い年。
10年後、20年後「広報」をみればわー！
1歳のあの子の顔が……



「家族を幸せにする老い方」
山井和則 著

○この夏をのり切らむとし焼肉のたれにたつぷりとニンニク効す
湧き水の流れの砂に命生む鬼蜻蛉のゐて水音かそか
○小松菜は何処の宅に届くらむ清水に洗ひ出荷を急ぐ
初盆の御霊迎える提灯を軒につるせば御灯しゆるる
○喜寿祝ふ年になりたりいつしかに亡き両親を遠に越えつつ
高原の花ほころびて登拝者の心慰さむ夏の御嶽
○賢くみて麗しき友なれど歩く姿は「く」の字となりぬ
○むし暑く寝ねがたき夜の窓による蛍の光にいつか寝入りし
○天の川降り来しものか草むらは蛍の光の点滅つづく
降りそそぐ太陽の下童等は川に泳ぎて若鮎を追う
○雨止みし闇に瀬音のひびきつつ稲田に低く螢とび交う
○化粧なくもんべ纏いし乙女は今華やぐ孫に吾が青春たくす
ひと日の労終え来て明日の吾が糧と二合の米を灯下にかしぐ

安江 香
今井 かな
安江 澄
三戸 きり
安江 節子
安江 龍玉
安江とくよ
早瀬 久子
小林 道子
安江 順子
菊田 清美
田口かずみ
山口とみ江

実君如何におわすか幼き日ザッポ釣りけんかもせし想出よ(下親田)
語りつつラジオ体操にゆく母子連れ胸に揺れいる出席カードは
曾孫連れ孫来たるこの一週間賑わして早や帰てゆきぬ
○炭小舎の裏山で啼く仏法僧耳を澄まし聞くランプ灯して
○送迎の車窓に見ゆる花の名を告げつついつか季節はめぐる
○残されし者の宿命と自が胸に云い聞かせつつ妻の墓誌刻る
崖上の茨苺を一人じめしており見上げる子等を尻目に
孫を背負いあやしなだめる小守歌ありし乍ら母を夢見る
百歳を二つ残して逝きませし翁の枢花にうもるる(金尾翁)
つばくろの声ひっそりと果の中に疎みておれば近寄りたし
陽は落ちて鯛の声カナカナと去らぬ暑さに涼を添えくる
向い山入道雲の湧く見えて稜線に立つ木の高さ知る
前七月号の古田眞之助様の歌で間違がありましたので謹しんでお詫します
一年を過ぐれど炬燵の向い側孫あやしつ妻の顔ちくる
古田眞之助
あなたも作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を
歓迎します。偶数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出して下さい。

安江 節子
安江 守平
安江すみよ
今井詩愉一
今井 米子
古田眞之助
中島甲子生
桂川 喜郎
安江嘉久一
小池 弘子
伊藤 美枝
伊藤 重雄
古田眞之助



今年の夏の最大の行事にアトラクタ・オリンピック

があった。そのオリンピックの最大の話題は何と言っても、日本のサッカーがブラジルに初めて勝ったことだろう。勝因は、今回の日本のオリンピックチームの若者たちは、国民のために、自分を世界にアピールするためにサッカーをしていたからだと思う。そして、「自分で自分を誉めてやりたい」と言ったマラソンの有森裕子選手の笑顔も印象的であった。マラソンと言えば、有森選手の笑顔と対照的にいつも思い出されるのが、東京オリンピックで銅メダルを取り、後に自殺した円谷選手のことである。円谷選手は、国民の期待を一心に背負ってその期待の重さに耐え切れなくなって自殺を図ったのである。スポーツが国威発揚の道具にされた時代から、やっと自分たちの生活を豊かにするための文化としてのスポーツに少し近づいてきたのだと実感する。勝敗の結果でなく、いいプレーそのものに感動を憶えるのである。(H)

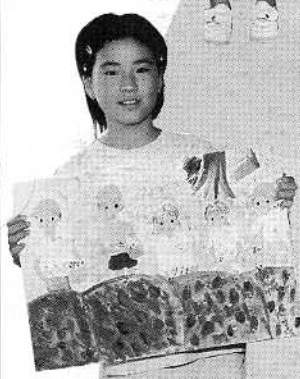
発表 わたしの作品



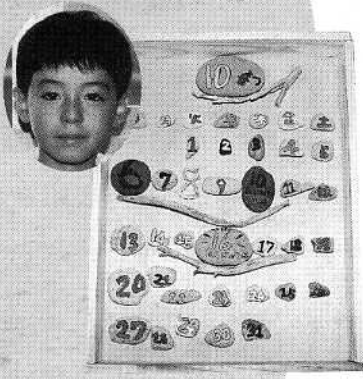
「プールの遊びの絵」
安江 央ちゃん (神付)
神戸保育園年長組



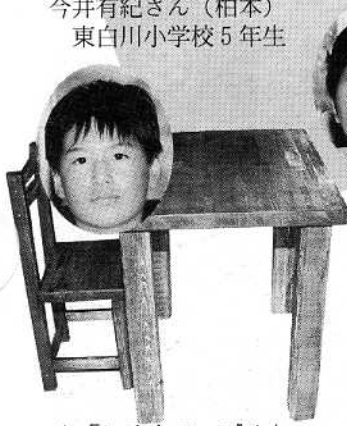
「プールの遊びの絵」
安江優貴ちゃん (下親田)
神戸保育園年長組



「お茶つみの絵」
今井有紀さん (柏本)
東白川小学校5年生



▲ 石と木で作った
10月のカレンダー
榎間文太さん (平)
東白川小学校2年生



▲「いすとテーブル」
今井良光さん (神付)
東白川中学校1年生



▲「ワンピースとスカート」
鈴村沙恵さん (柏本)
東白川中学校1年生